

科目名		インテリア実習 II			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		デザインコンペへの参加を通し、実務に活かせるプレゼンテーション技法を身に付けます。 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 課題制作を中心に、見せ方、描き方学び、就活に活かす作品を作る。 3. 条件に則したプレゼンツール作成の基本を理解する。 4. プレゼンテーション (発表) の手法を学ぶ。			
学習目標 (到達目標)		インテリアコーディネーターの業務においてプレゼンテーションの重要性を理解します。3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアコーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボードをつくるテクニックを学びます。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 ②3DインテリアデザイナーNeo3			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	第19回 主張する「みせ」 学生デザインコンペ 概要の説明			デザインコンペへの参加し、街づくりや店づくり等を含んだ商業施設づくりに対する意識啓発を図り、発想力や表現力を含んだ技術の向上を目指す。	
2	1. テーマを理解し作品の核となるキーワードを見つける。 2. 作品のコンセプトを考え、デザインにどう反映するか考える。			方法：作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表まで工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに、入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
3	3. 付帯条件を理解し、空間の全体イメージを決める。 4. 作品で使用する、インテリアエレメント (要素) を決める。			方法：作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表まで工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに、入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
4	5. インテリアエレメント (要素) を選定する。 6. 3Dパース制作 7. プレゼンボード制作			方法：作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表まで工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに、入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
5	課題プレゼンシート最終締切 8月中旬			プレゼンシートを完成させ提出する。	
6	プレゼンテーション			方法：制作したプレゼンシートを使用し、PowerPointでのプレゼンテーション技法を身に付ける。 目標：実務に活かせるプレゼン技法を習得する。	
7	課題発表			発表：デザインコンペ作品発表 講評→解説	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	取組姿勢			これからの「みせ」づくりを、どのような視点をもって臨むかを、「主張する「みせ」」というテーマでアイデアを競うコンペです。コロナ禍に求められる新たな商業空間の役割について考え、表現する力を習得します。作品の骨格となるテーマやコンセプトが重要となります。コンペに挑戦することで、実務に活かせるプレゼンテーション技法をしっかりと身に付けましょう。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴20年			